

正誤表「平成20、21年度中期目標の達成状況報告書」

信州大学

	頁数	大項目・中項目・計画番号	該当欄・行数等	誤	正
1	報告書 1 頁	教育・教育の 成果に関する 目標・計画 1 － 1	実施状況 欄・上か ら 5 行	○ 授業目標の達成度に基づいて成績評価する。・・・	○ 授業目標の達成度に基づいて成績を評価する。・・・
2	報告書 2 頁	教育・教育の 成果に関する 目標・計画 1 － 4	実施状況 欄・上か ら 1 行	・・・平成21年度から個々の科目における「学位授与の方針」の能力要素の獲得状況について、 <u>学生</u> の自己評価とそれに対する教員による指導を行っている。・・・	・・・平成21年度から、 <u>個々の</u> 科目における「学位授与の方針」の能力要素の獲得状況について <u>学生</u> の自己評価により確認し、それに対する教員による指導を行っている。・・・
3	報告書 3 頁	教育・教育の 成果に関する 目標・計画 2 － 2	実施状況 欄・下か ら 2 行	・・・学習指導に <u>当</u> てる取組を実施した。	・・・学習指導に <u>充</u> てる取組を実施した。
4	報告書 3 頁	教育・教育の 成果に関する 目標・計画 2 － 3	実施状況 欄・下か ら 2 行	・・・観点を踏まえて教育課程を編成した。	・・・観点を踏まえて、 <u>教育</u> 課程を編成した。
5	報告書 4 頁	教育・教育の 成果に関する 目標・計画 2 － 4	実施状況 欄・下か ら 3 行	平成21年度科学技術振興機構「理系教員	平成21年度科学技術振興機構「理 <u>数</u> 系教員
6	報告書 4 頁	教育・教育の 成果に関する 目標・計画 2 － 4	実施状況 欄・下か ら 5 行	・・・カリキュラムを取り入れた、 <u>人</u> 材育成を行っている。	・・・カリキュラムを取り入れた人材育成を行っている。
7	報告書 5 頁	教育・教育の 成果に関する 目標・計画 2 － 8	実施状況 欄・上か ら 4 行	・・・「信州大学 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」において、改めて当該能力を付与することを方針として含めるとともに、さらに以下のような特徴的な取組により、専門人・職業人の育成に努めている。 <u>（資料－教育 2－3 ①）</u>	・・・「信州大学 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」 <u>（資料－教育 2－3 ①）</u> において、改めて当該能力を付与することを方針として含めるとともに、さらに以下のような特徴的な取組により、専門人・職業人の育成に努めている。
8	報告書 7 頁	教育・教育の 成果に関する 目標・計画 3 － 8	実施状況 欄・上か ら 2 行	また、平成 <u>20</u> 年度に	また、平成 <u>21</u> 年度に

	頁数	大項目・中項目・計画番号	該当欄・行数等	誤	正
9	報告書 10頁	教育・教育内容等に関する目標・計画7-1	実施状況欄・上から5行	○ 授業目標の達成度に基づいて成績評価する。・・・	○ 授業目標の達成度に基づいて成績を評価する。・・・
10	報告書 13頁	教育・教育の実施体制等に関する目標・計画11-2	実施状況欄・上から1行	・・・平成20年度には「信州大学FDポリシー」を制定し、FD活動を積極的に推進した。平成20年度以降の主な取組を以下に示す。 <u>（資料－教育11－2）</u>	・・・平成20年度には「信州大学FDポリシー」 <u>（資料－教育11－2）</u> を制定し、FD活動を積極的に推進した。平成20年度以降の主な取組を以下に示す。
11	報告書 20頁	研究・研究水準及び研究の成果等に関する目標・計画3-2	実施状況欄・下から2行	・・・「3 社会との連携，国際交流等に関する目標」，「 <u>その他</u> 計画1-3」に記述した。	・・・「3 社会との連携，国際交流等に関する目標の達成状況」，「計画1-3」に記述した。
12	報告書 24頁	研究・研究水準及び研究の成果等に関する目標・計画7-3	実施状況欄・上から2行	・・・ <u>8カ国の研究者，大学教員等9名</u> を評価委員とする・・・	・・・ <u>8名の外国人研究者</u> を評価委員とする・・・
13	報告書 26頁	研究・研究実施体制等の整備に関する目標・計画9-2	実施状況欄・下から1行	・・・全自動蛍光X線分析装置の修理	・・・全自動蛍光X線分析装置の修理
14	報告書 27頁	研究・研究実施体制等の整備に関する目標・小項目3	小項目名欄	知的財産の送出・取得を推進し，その管理・活用を図る。	知的財産の創出・取得を推進し，その管理・活用を図る。
15	報告書 27頁	研究・研究実施体制等の整備に関する目標・計画10-1	実施状況欄・上から4行	・・・と連携し，各高等教育機関における， <u>機関間</u> の・・・	・・・と連携し，各高等教育機関における機関間の・・・
16	報告書 29頁	研究・研究実施体制等の整備に関する目標・計画12-4	実施状況欄・下から3行	・・・平成21年11月には， <u>独立行政法人</u> 科学技術振興機構の・・・	・・・平成21年11月には，科学技術振興機構の・・・
17	報告書 32頁	社会・社会との連携，国際交流等に関する目標・計画5-2	実施状況欄・下から3行	平成20年7月に・・・	平成20年7月に・・・

	頁数	大項目・中項目・計画番号	該当欄・行数等	誤	正
18	報告書 33頁	社会・社会との連携、国際交流等に関する目標・計画 6－1	実施状況欄・下から4行	・・・（資料－その他6－1）	・・・（資料－その他6－1 ①、②）
19	別添資料	目次	上から9行	高度な専門的知識と能力、実践的技術力、研究能力を修得させる特徴的な教育課程と、その履修状況等（平成19年度以降）	各学部における専門人、職業人養成のための特徴的な教育課程と、その履修状況等（平成19年度以降）
20	別添資料	目次	上から11行	「共通教育グッドプラクティス」の実施状況、	「共通教育グッドプラクティス」の実施状況
21	別添資料	資料－教育2－8	見出し・上から1行	「各学部における専門人、職業人養成のための・・・」	「各学部における専門人、職業人養成のための・・・」
22	別添資料	資料－教育3－8	「所属研究科・学年等」欄・下から3欄	医学系研究科、臓器発生制御医学講座発生再生医学分野、博士課程一年	医学系研究科臓器移植細胞工学医科学系専攻臓器発生制御医学講座発生再生医学分野博士課程1年

正誤表「現況分析における顕著な変化についての説明書」

信州大学

	学部・研究科等	水準	整理番号・行数等	誤	正
1	人文学部	教育	44-1-1・資料－人文－1・右表・最初の欄	改組案	改組後
2	人文科学研究科	教育	44-2-3・上から4行	教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制	教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制
3	教育学部	教育	44-3-8・上から5行	・・・教員就職率は62.6%（全国平均56.7%）であり、全国9位であった。・・・	・・・教員就職率は62.6%（全国平均56.7%）であり、全国9位であった。・・・
4	教育学部	教育	44-3-8・上から6行	・・・同状況は63.7%（全国平均56.6%）（前年度比1.1ポイント増加）・・・	・・・同状況は63.7%（全国平均56.6%）（前年度比1.1ポイント増加）・・・
5	教育学研究科	教育	44-4-9・上から4行	教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制	教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制
6	教育学研究科	教育	44-4-9・資料－教育院－1・（出典）	（・・・「夜間大学院授業についての御意見」アンケートより）	（・・・「夜間大学院授業についての御意見」アンケート）
7	経済学部	教育	44-5-12・上から4行	教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制	教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制
8	経済学部	教育	44-5-12・下から6行	・・・成績分布を教育改善に向けて、有機的総合的に検証できるよう、・・・	・・・成績分布を教育改善に向けて有機的総合的に検証できるよう、・・・
9	経済・社会政策科学研究科	教育	44-6-16・上から9行	・・・大学院生の多くは在職者でありながら、・・・	・・・院生の多くは在職者でありながら、・・・
10	理学部	教育	44-7-18・上から5行	数理・自然情報学科	数理・自然情報科学科

	学部・研究科等	水準	整理番号・行数等	誤	正
11	理学部	教育	44-7-18・下から3行	・・・平成21年度から週1週から・・・	・・・平成21年度以降、週1週から・・・
12	理学部	教育	44-7-21・上から2行	事例2「教育実施体制の充実」	ゴシック体に修正
13	医学部	教育	44-8-22・上から16行	・・・：附属病院に長野県難病相談・支援センターを開設し、・・・	・・・：本学部附属病院に長野県難病相談・支援センターを開設し、・・・
14	医学部	教育	44-8-22・下から15行	・・・として附属病院に新設し、・・・	・・・として本学部附属病院に新設し、・・・
15	医学部	教育	44-8-22・下から13行	・・・長野県厚生農業共同組合連合会の寄附により・・・	・・・長野県厚生農業協同組合連合会の寄附により・・・
16	医学部	教育	44-8-27・下から12行	附属病院に長野県難病相談・支援センターを・・・	本学部附属病院に長野県難病相談・支援センターを・・・
17	医学部	教育	44-8-27・下から6行	・・・研究部門として附属病院に新設し、・・・	・・・研究部門として本学部附属病院に新設し、・・・
18	医学系研究科	教育	44-9-35・上から5行	・・・平成20年度から南関東圏9大学13研究科からなる共同体に・・・	明朝体に修正
19	医学系研究科	教育	44-9-35・上から8行	・・・平成21年度に授業科目「腫瘍学研究方法特論」を新たに設けた。	明朝体に修正
20	農学部	教育	44-11-39・下から16行	・・・毎回の参加者は20人程度である。・・・	・・・毎回の参加者は20名程度である。・・・
21	農学部	教育	44-11-40・下から18行	・・・中学理科の教員免許の取得を・・・	・・・中学校理科の教員免許の取得を・・・
22	農学部	教育	44-11-41・上から6行	・・・人間力向上支援プログラム～」で、・・・	・・・人間力向上支援プログラム～」において、・・・

	学部・研究科等	水準	整理番号・行数等	誤	正
23	農学部	教育	44-11-41・上から7行	・・・体験型ゼミで野外実習や・・・	・・・体験型ゼミによる野外実習や・・・
24	農学部	教育	44-11-44・上から4行	中学理科教員免許取得の追加	中学校理科教員免許取得の追加
25	農学部	教育	44-11-44・上から6行	・・・カリキュラム改定により，中学理科の・・・	・・・カリキュラム改定により，中学校理科の・・・
26	農学部	教育	44-11-44・上から9行	・・・受講者は平成20年度56人，平成21年度74人であり，平成21年度の・・・	・・・受講者は平成20年度56名，平成21年度74名であり，平成21年度の・・・
27	農学部	教育	44-11-44・下から16行	・・・事前教育で，これを修得した学生に「インターンシップⅡ」で企業等での実習を受けさせている。	・・・事前教育であり，これを修得した学生に「インターンシップⅡ」により企業等における実習を受けさせている。
28	農学部	教育	44-11-44・下から14，13行	・・・20年度は116名，21年度119名で，20年度以降は2年次生の・・・	・・・平成20年度は116名，平成21年度119名で，平成20年度以降は2年次生の・・・
29	農学部	教育	44-11-45・上から4行	中学理科教員免許取得の追加	中学校理科教員免許取得の追加
30	農学部	教育	44-11-45・下から2行	・・・カリキュラム改定により，中学理科の・・・	・・・カリキュラム改定により，中学校理科の・・・
31	農学研究科	教育	44-12-49・上から5行	・・・文部科学省派遣型高度人材育成共同プラン・・・	・・・文部科学省派遣型高度人材育成協同プラン・・・
32	農学研究科	教育	44-12-49・上から7行	・・・この共同プランは，毎年度，・・・	・・・この協同プランは，毎年度，・・・
33	農学研究科	教育	44-12-49・上から10行	また，同共同プランが・・・	また，同協同プランが・・・
34	農学研究科	教育	44-12-50・上から7行	・・・育成共同プラン・・・	・・・育成協同プラン・・・

	学部・研究科等	水準	整理番号・行数等	誤	正
35	農学研究科	教育	44-12-50・下から7行	機能性食料科学専攻	機能性食料開発学専攻
36	農学研究科	教育	44-12-50・下から5行	・・・多くなり，農学研究科の目標に沿った・・・	・・・多くなり，本研究科の目標に沿った・・・
37	農学研究科	教育	44-12-52・上から4行	・・・文部科学省派遣型高度人材育成共同プラン・・・	・・・文部科学省派遣型高度人材育成協同プラン・・・
38	農学研究科	教育	44-12-52・上から6行	・・・この共同プランは，毎年度，・・・	・・・この協同プランは，毎年度，・・・
39	農学研究科	教育	44-12-53・上から7行	・・・文部科学省派遣型高度人材育成共同プラン・・・	・・・文部科学省派遣型高度人材育成協同プラン・・・
40	農学研究科	教育	44-12-53・下から3行	機能性食料科学専攻	機能性食料開発学専攻
41	農学研究科	教育	44-12-53・下から2行	・・・多くなり，農学研究科の目標に沿った・・・	・・・多くなり，本研究科の目標に沿った・・・
42	繊維学部	教育	44-13-55・上から5行	繊維学部では，・・・	本学部では，・・・
43	繊維学部	教育	44-13-55・上から13行	(5) TOEFL-iBT受検セミナーの実施・・・	(5) TOEFL-iBT受験セミナーの実施・・・
44	繊維学部	教育	44-13-55・下から7行	これらの取組により，繊維学部における・・・	これらの取組により，本学部における・・・
45	繊維学部	教育	44-13-56・上から5行	繊維学部の教育目標・・・	本学部の教育目標・・・
46	繊維学部	教育	44-13-56・資料－繊維－3・見出し	第5回キャンパスベンチャーグランプリ（CVG）東京受賞実績	明朝体に修正

	学部・研究科等	水準	整理番号・行数等	誤	正
47	繊維学部	教育	44-13-56・資料－繊維－4・見出し	ものづくりプロジェクトの受賞実績（平成 <u>20</u> ， <u>21</u> 年度）	明朝体に修正
48	繊維学部	教育	44-13-57・上から4行	繊維学部では，・・・	本学部では，・・・
49	繊維学部	教育	44-13-57・上から9行	・・・繊維学部を希望する受験生にとって・・・	・・・本学部を希望する受験生にとって・・・
50	工学系研究科	教育	44-14-59・下から19行	状況等について述べる。	状況等について述べる。
51	工学系研究科	教育	44-14-59・下から2行	文部科学省科学振興調整費	文部科学省科学技術振興調整費
52	工学系研究科	教育	44-14-61・下から7行	引き続き高い水準を維持しつつ	引き続き高い水準を維持しつ
53	総合工学系研究科	教育	44-15-64・下から3行	・・・TOEIC，TOEFLの受験を奨励している。	・・・TOEIC，TOEFLの受験を奨励している。
54	総合工学系研究科	教育	44-15-65・下から3行	た事が、 <u>現在</u> の仕事にどのように役立っていますか	た事が <u>今</u> の仕事にどのように役立っていますか。
55	農学部・農学研究科	研究	44-5-7・上から5行	・・・それぞれのプロジェクトに有期雇用教員を配置するとともに，・・・	・・・それぞれのプロジェクトに <u>特定</u> 有期雇用教員を配置するとともに，・・・
56	理学部	研究	44-6-11・上から5行	理学部では，・・・	本学部では，・・・
57	理学部	研究	44-6-12・上から5行	理学部の研究成果は・・・	本学部の研究成果は・・・
58	理学部	研究	44-6-12・資料－理－3・右上から2欄，3欄	科学技術振興機構（JST） <u>文</u> 科省先端計測分析技術【2カ所】	科学技術振興機構（JST）先端計測分析技術【2カ所】

	学部・研究科等	水準	整理番号・行数等	誤	正
59	工学部	研究	44-7-13・上から5行	工学部では、・・・	本学部では、・・・
60	工学部	研究	44-7-13・下から9行	・・・地元企業と工学部が産学連携・協力体制の・・・	・・・地元企業と本学部が産学連携・協力体制の・・・
61	工学部	研究	44-7-13・下から5行	・・・多数の工学部教員がCNTの研究を・・・	・・・多数の本学部教員がCNTの研究を・・・
62	工学部	研究	44-7-14・下から3行	工学部おける・・・	本学部おける・・・
63	工学部	研究	44-7-14・下から2行	・・・加えて、工学部教員の・・・	・・・加えて、本学部教員の・・・
64	工学部	研究	44-7-15・上から5行	・・・多数の工学部教員を中心に・・・	・・・多数の本学部教員を中心に・・・
65	工学系研究科	研究	44-9-16・下から8行	・・・多数の工学系研究科教員がCNTの研究を・・・	・・・多数の本研究科教員がCNTの研究を・・・
66	工学系研究科	研究	44-9-16・下から6行	・・・の創生と応用」が地域卓越研究者戦略的結集プログラム・・・	・・・の創成と応用」が地域卓越研究者戦略的結集プログラム・・・
67	総合工学系研究科	研究	44-10-17・下から8行	・・・多数の総合工学系研究科教員がCNTの研究を・・・	・・・多数の本研究科教員がCNTの研究を・・・
68	総合工学系研究科	研究	44-10-17・下から6行	・・・の創生と応用」が地域卓越研究者戦略的結集プログラム・・・	・・・の創成と応用」が地域卓越研究者戦略的結集プログラム・・・

正誤表「学部・研究科等の現況調査表」

信州大学

	学部・研究科等	水準	頁数・行数等	誤	正
1	総合工学系研究科	教育	15-1・上から4行	Ⅲ 質の向上度の判断 ・・・・・・・・・・15－3	削除
2	総合工学系研究科	教育	15-2・下から10行	といわれる	と言われる
3	法曹法務研究科	教育	16-1・上から4行	Ⅲ 質の向上度の判断 ・・・・・・・・・・16－2	削除